

# 製本のススメ

Vol. 195

朝晩 ぐっと過ごしやすくなってきましたね。そろそろ♨マークが恋しくなります。暖かい湯気の揺らぎは、癒されますね。

今回は**そもそも、トンボって何？**のお話です

最近では異業種からの参入や印刷関連の機械も進化し印刷の営業でさえも意外と正しく知らない人がいるので、おさらいを兼ねてお話ししましょう。

大量に印刷、加工するものが何故キチンと同じ状態で出来るのでしょうか？これには**各工程を貫く大切な約束事**があるのです。

印刷物は、企画、レイアウトを経て製版し、オフセットなら刷版、グラビアならシリンダー、活版なら鉛版か樹脂版、それぞれに版を作って印刷・加工して製品にしていく訳です。多くの場合 各工程を違う人達が手分けして作業を行う為に**ちゃんとした製品作りのための一貫した仕組み**が必要になります。

企画・レイアウトが終了した段階で**校正刷**と言われる一種の試作品(この感じがいいかどうか確認するための物)を出力します。ここでレイアウトの間違いが無いか 色合いに勘違いが無いか 大きさ等の間違いが無いかなど様々な確認を行い この時点で**製本を含む後加工への指示がつけられています** 紙折位置 裁断位置など**設計指示の印がトンボ**です 印刷用紙の天地左右に2本の小さなカギ型線や、丸に十の字が4箇所あります。内側が仕上げ断裁位置、外側は仕込み断裁位置を意味します。丸に十の字 これはセンタートンボです、印刷面の中心を記しています。これらのお陰でちゃんとした製品を作る事が出来るのです。後加工にはもう一つ、**抜き**と言う作業があります。型を作って抜いて行く訳ですが、**断裁、製本は仕上りトンボが、そして版と型作りにはセンタートンボが必須なのです**。これが**各工程の共通基準点**になりキチンとした製品が出来る訳です。したがって、**紙が小さくてトンボを印刷できない/表裏でトンボの位置がずれている/本来の位置にトンボが付けられていない等は、絶対にきちんとした製品にはなりません**。トンボを無視しては加工が成り立たないのです。



## Tea break

国民の夢「宝くじ」本当に当選者が居るのかな？と思う程 1等には当たりませんね。さてこの宝くじですが 法律上の正式名称は「当せん金附証票」です。昭和 23 年 7 月に宝くじに関する法律 第 144 号が交付されこの法律に当せん金附証票という呼び名で宝くじの規定がなされているそうです。さて今年も残り僅かです。億万長者になれるでしょうか？

弊社 HP は <http://www.isekiseihon.com>

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本